

# 丸運グループ長期経営ビジョン 丸運イノベーション



2020年5月11日

株式会社 丸運

**Maruun Corporation** 



## ＜丸運グループ経営理念＞

### ● 私たちの使命

お客さまの物流ソリューションを、  
最高の品質と創造力で提供し、  
社会の発展、企業の繁栄、個人の幸福に貢献します

グループ  
経営理念

長期経営ビジョン

「私たちは、今後10年間に毎年2%以上の成長を続け、組織と個人も、ともに20%以上パワーアップした姿に進化します」

丸運イノベーション

- Business Innovation
- Mind Innovation
- Cost Innovation
- IT Innovation
- Work Style Innovation

中期経営計画 2020～2022

長期経営ビジョンに基づく3年間の実行計画

私たちは、今後10年間に毎年2%以上の成長を続け、  
組織と個人も、ともに20%以上パワーアップした姿に進化します

## 1. 営業収益、経常利益、売上高経常利益率が20%以上伸長

- ✓ 営業収益600億円以上、経常利益20億円以上、売上高経常利益率3%以上

## 2. 従業員満足度、顧客満足度、株主満足度が向上

- ✓ それぞれの調査結果で、満足度が20%以上向上

## 3. 企業認知度、HP来訪者ともに20%以上アップ

- ✓ ステークホルダーの「丸運」認知度が大幅に高まり、物流業界におけるプレゼンス向上

## 4. 組織そして個人も、ともに毎年2%以上の成長を継続

- ✓ 労働生産性が20%以上アップし、従業員一人あたりの営業収益が20%以上増加
- ✓ 一人あたりの年間総労働時間を20%以上削減し、全従業員の労働時間が20%以上削減

## 5. ダイバーシティの推進が定着

- ✓ 女性社員（スタッフ、ドライバー、オペレーター）比率が20%以上増加
- ✓ 外国籍社員（海外採用含む）比率が20%以上を占有

# 丸運イノベーション

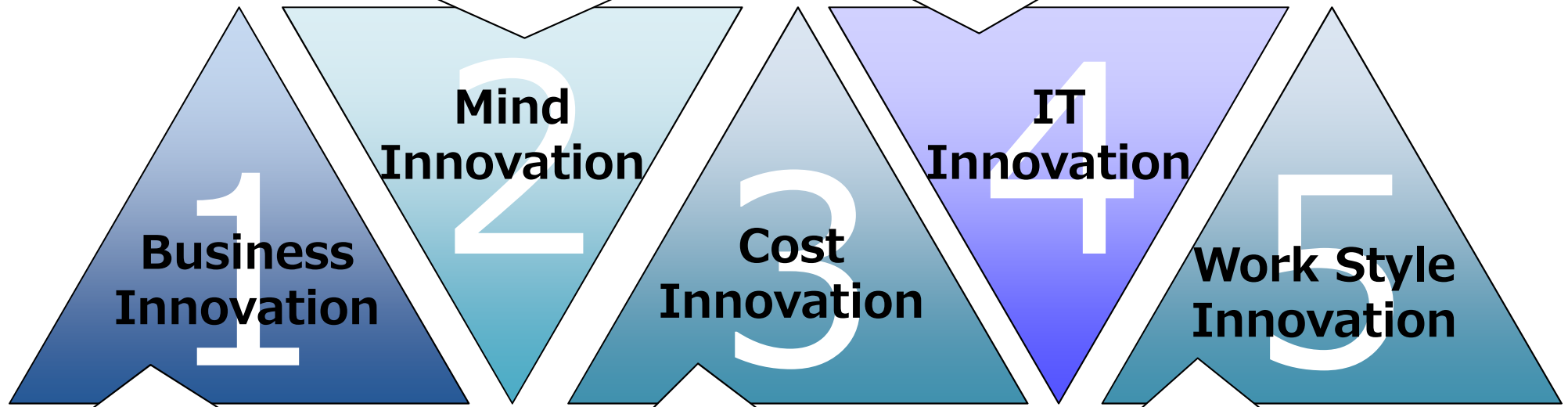


～丸運スピリットのパラダイムシフト～

- CSRマインドの涵養と実行
- 「Defense」⇒「Offense」マインドシフト
- CI (Corporate Identity) 重視
- 人材の確保・育成・活用 (入口・出口戦略)
- 人材育成計画の立案・実行
- 働き方の「量から質へ」の意識改革/転換

～丸運グループの全面的な業務改革を推進～

- 基幹システムのフル活用  
(Maruwn Logistic System=MLS)
- システム投資の効果測定
- 丸運版働き方改革「10to8」
- ITツール、AIツールの活用



～10年後につながる

成長戦略ビジネスの展開～

- B to B (Business)
- B to C (CSR)
- B to O (Overseas)
- B to M (Memorial)
- B to E (Efficiency)

～コスト削減は

日常的かつ永遠の課題～

- 前例踏襲支出の一掃
- 間接コスト削減で  
競争力アップ
- MLS活用によるコスト削減
- 「10to8 & 8to10」

～「10to8 & 8to10」運動～

- 働き方「質」・「量」的改革
- 「10to8」実現のための  
勤務制度改定
- 「8to10」実現のための  
能力開発
- 法令対応 (～2024.4)

## 丸運グループ経営理念

**長期経営ビジョン（2020年→2030年）**  
“10年後の目指す姿”を共有化し、全員のベクトルを定める”

### <丸運イノベーション：Innovation-5>

#### Business Innovation

成長ビジネス追求  
新規ビジネス展開  
海外ビジネス強化  
新領域へ進出

#### Mind Innovation

パラダイムシフト  
企業風土変革  
CSR推進経営

#### Cost Innovation

一般管理費削減  
競争力・収益力強化  
MLS活用コスト削減

#### IT Innovation

MLS開発・稼働  
AI物流考案  
IT作業開発

#### Work Style Innovation

人材育成投資  
能力開発投資  
働き方改革  
10to8&8to10

### <第3次中期経営計画 2020～2022>

<セグメント> 貨物輸送、エネルギー輸送、海外物流、テクノサポート、コーポレート、関係会社

### 組織・個人の行動計画への反映